

3月号

2017年 3月 25日発行



あさのがわ

みやちくじちしんこうかい 広報

宮地区自治振興会 甲賀市甲南町野川818 甲南第三地域市民センター内
 電話 0748-86-8518 FAX 0748-86-8519

特産品づくり視察研修会

去る2月18日(土)に宮地区自治振興会農林部会が主催する特産品づくり視察研修会を行いました。

研修先は信楽町黄瀬にある農業法人黄瀬営農組合で、地域の営農組合など農業関係者17名で訪問しました。

当組合は、平成23年度に法人化をされ先進的な取組を進めておられます。

まず一番目として、農地の利用権設定を図り、法人が地域の農地を守る体制を整えられました。二番目には、積極的に園芸に取り組みまれています。これには水稲と園芸との複合化による安定経営の確立、高齢者や女性の参画および児童を巻き込んだ食育活動の推進であります。

また、地元産米・大豆を使った黄瀬味噌や地元そばによるそば粉や手打ちそばの製造・販売を行い、六次産業化の取組を実践されております。

併せて環境美化の取組としてセンチピートグラスという芝の播種による路肩・畦畔等の除草作業の削減などに取り組んでおられました。最後に活発な質疑応答を行い研修を終了しました。

今回の研修に参加して、少子高齢化の中で地域づくりのあり方を示す優良事例として大変参考になりました。これからも皆様方には、自治振興会の活動にご支援・ご協力いただきますようよろしくお願い致します。



平成29年度宮地区子ども会研修旅行のお知らせ

日時 5月28日(日)

行先 神戸市立王子動物園・アサヒ飲料(株)明石工場



参加申し込みや詳細事項につきましては、後日案内チラシを配布いたします。
お楽しみに！

4/23 定期総会



5/29 子供会研修旅行



7/16 鳥獣害対策研修会



6/26 ひまわり種まきイベント



8/20 第三小草刈ボランティア



地域振興部会

部会長 杉田 利正

28年1月から「地域おこし協力隊」として田中啓介君が活動をしています。初年度は地域支援事業として、食用ひまわり栽培と金胡麻栽培に取り組み、少量ながらひまわり油が採取できました。下馬杉の皆さんや役員の皆さんに多数の出役頂きました。竹炭やハチミツにも挑戦し、いよいよ宮の活性化に寄与してくれると期待しています。

10月には6次産業研修会を開催し、優良農産品に付加価値をつけて自分の手で販売するスタイルの提案をしました。第二回を実施したかったが、実現出来ませんでした。11月には交流3年目の山内文化祭に「餅」「糯米」「愛柑梅」で出店し、好評を得ました。12月のわくわくフェアには、山内自治振興会・地域おこし協力隊・特産品コーナー・フリーマーケットの出店が新たに加わり盛大に開催できました。室内では多くの自慢の作品が出展され、さながら文化祭の様でもあり、宮の住民が一つになれる事業となりました。

すべての事業が特産品開発と宮の売出しにつながるよう意識しての企画でした。

健康福祉部会

部会長 稲垣 昇純

本年度も健康福祉部会として活動させていただきました。部会事業の一つであります子供会の研修旅行は川越電力館と名古屋港水族館へ行きました。今年は先に区の行事が組まれているところがあり、こどもの日ではなく、5月29日(日)にさせていただきました。川越電力館ではワンダーマシン、ハイパーシアター、工作イベント等各自で巡っていただき、名古屋港水族館では、イルカのショー、シャチの公開トレーニング、イワシのトルネードを見学していただきました。連休とは違い今年は渋滞に巻き込まれることなく帰宅することができました。

又、本年度も3名のお子様の誕生と小学校の入学・卒業のお祝いを贈り、宮っ子の健やかな成長を願わせていただきました。

11月には今年もファミリーウォークを実施。当日、所要にて私は欠席させていただきましたが、多くの方々に参加していただきありがとうございました。手力神社～モクモクてづくりファーム～上野川の市民センターまでを歩き、少し距離が長かったようで疲れたという声を多くいただきました。

今年度の事業内容をふまえ、来年度も皆様のご協力のもと健康福祉部の活動ができればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

安心安全部会

部会長 田中 清仁

安全安心部会では「安心して住める地域づくり」と「救急や災害発生時の備え」の二点について重点的に活動を行いました。

安心して住める地域づくりでは、5月に第三小学校育友会の方と協働して飛び出し注意看板の新設と保守交換を行いました。また前年度より継続して防犯灯のLED化への推進を行うと共に、今年度から新たに宮地区内にある消火栓ボックスに配備されているホースや筒先などについて傷みの状態や欠品の状況を調べ、補充を行いました。各所で器具の劣化が進んでいることから、この事業は重点課題として今後も取り組んでまいります。

次に急病発生や罹災時にも対応できる備えとしては、災害発生時に緊急用の生活用水を確保する事を目的として、地域の方に協力井戸の提供をお願いし登録井戸を増やしました。

さらに救急時に迅速で適切な対応により命を救うため、命のバトンと医療情報記入用紙の配付を12月に行ないました。

部会では、これからも災害に強い地域づくりと安心して住める宮地区の創造を進めていきます。

本部会活動報告

文化体育部会

部会長 山口 眞典

文化体育部会で毎年メイン事業として取り組んできました第三学区運動会が、今年度は台風接近のために中止となってしまいました。各区におかれては選手選考を始め運動会に向けて精力的に準備を進められ、楽しみにしていただいたところですが、天候にはさからえず、誠に残念な仕儀となってしまいました。当日は、小学校の児童のみの運動会が体育館で行なわれました。また、ボランティアグループの声掛けもあり、「くノ一踊り」も復活しました。

来年度は、小学校の運動会と学区民の運動会を一緒に行う宮学区ならではのこの伝統のある事業が、天候に恵まれ、地域の子供たちと住民の皆さんが一つのグラウンドでともに声援を送れる楽しいイベントとして開催できるよう期待したいと思います。

また、昨年度から数年にわたる歴史文化事業として着手しました、「(仮称)宮おもしろ図鑑」にも引き続き取り組みました。この事業は、宮地区に残る豊富な歴史や文化、さらには宮の人々の日々の暮らしや活動を記録として残そうとするものです。今後も、市の専門家の指導、助言をいただきながら作製に向けて取り組んでまいります。皆さんのご協力をお願い申し上げます。

10/8 6次産業化研修会



11/6 ファミリーウォーク



11/20 山内交流事業



12/3 わくわくフェア



2/18 特産品づくり視察研修会



農林部会

部会長 岡崎 勝

農林部会では、獣害対策、耕作放棄地対策、特産品づくりを重点課題として取り組みました。7月には、鳥獣害対策研修会を開催し、サル追い払い隊の皆さんに集まいただき、県・市の獣害対策担当者より現状報告や獣害に強い集落づくり、田畑の上手な囲み方などの説明を受け、市のサル接近情報や追い払いなど、地域をあげた有害鳥獣を寄せ付けない継続した取り組みが必要であると感じていただきました。

また、2月には信楽町の黄瀬地区へ行き、特産品づくり視察研修会を開催しました。黄瀬営農組合の概要や経営の現状、取り組み等を説明していただき、地元の大豆を使った味噌の加工施設兼野菜直売所を見学しました。地域の活性化を追求するためにいろいろと努力されていると感じました。参加された方々も大変参考になったと思います。

今後におきましても、いずれの課題解決には継続した地域の理解がなければなりませんのでこれからも皆様のご協力をお願いします。

執行部・事務局

事務局長 塗矢 昭夫

宮地区自治振興会が発足して6年過ぎましたが、「自治振」という愛称で皆様方になじんできたのではないかと感じております。

さて本年度は、自治振興会活性化のために土山町の山内自治振興会との交流を始めて3年目になりますが、初めてそれぞれのイベントに出展参加をしました。互いのイベント会場では新鮮さも手伝い大いに盛り上がり良い刺激を得ることができました。

また、本年度から地域おこし協力隊の田中啓介さんが本格的に活動され、地元の協力を得ながら取り組んでおられますので、田中隊員にご支援をいただきますようお願いいたします。

部会事業におきましては、特産品開発や消防器具の補充などタイムリーな課題に対して取り組む一方で、忍にん寄席の一時休止など事業見直しも行いました。また、各区長と自治振会長の連名で野川診療所の継続についての要望を行ったところであります。

色々と地域の課題は山積しておりますが、一歩ずつ皆様方とともに課題の解決に努めたいと思いますので、自治振の活動に引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

地域おこし協力隊便り ～宮の竹林～

隊員 田中啓介

ある山に連れて行っていただいた時に荒れた竹藪を見てショックを受けた一年前。その時に抱いた感情をもって、春夏と畑と蜜蜂の管理をする一方で竹の可能性についてリサーチしていました。竹藪の管理者にお伺いすると「年齢と共に山に入れなくなった」という方が多く、「使い道もなく、切って燃やすだけ」という方がほとんどでした。

つまり、働き手と流通経路が作れば竹藪が竹林になる。里山がもっとキレイになるのではという思いと、まずは自分が体験しようという思いで、今年の冬には実際に竹藪整備に着手しました。持ち主のご主人が「もう何年前に入ったかわからない」と言われるように、竹藪の中は立ち枯れしている、折れた竹が他の竹に干渉し倒れていない、青竹の密集などで右の写真のような状況に…



1シーズン整備をし、感じたのは伐採・搬出の重労働。しかし、元気であれば可能であろう。次いで流通だが、まず竹といえば昔も今も価値のある炭。ということで、炭窯を手作りし、これまでに数度実際に焼いてみました。竹炭だけでは、まだ流通経路の確保には至らないと思っています。まだ思案段階ですが、次年度はチップ・パウダーなどで農業資材としての活用や搬出の労力軽減ができるように、竹林をキレイに保っていく方法を模索します。



災害時協力井戸事業(◎新規登録)

区	氏名(敬称略)	区	氏名(敬称略)
柑子	坂田 忠蔵	下馬杉	太田 久江
	藤川 勝也		木下 一
	◎吉村 祐志		◎山口 真典
	◎辻 金雄		◎石橋 政弘
下野川	田中 聰徳	上馬杉	◎西本 惠一
	田中 義人		藤田 吉宏
	◎北田 政博		杉田 利正
上野川	増田 順一	◎太田 滋克	
	廣田 典久	◎西田とみ子	
	◎北田 貞敏	◎西田 淳	
	◎中野 和彦	◎大治 進	
	◎増田 則治	◎山下 博	
	◎増田 伊佐男	◎鳥居 孝義	
	◎北田 英樹		

宮のお宝 赤ちゃん誕生

☆岩田 琴葉(ことは)ちゃん

11月17日生まれ(下馬杉)

ご両親 岩田 寛さん・千絵美さん

☆田中 柊吾(とうご)くん

12月 7日生まれ(下野川)

ご両親 田中 豪さん・緑さん

健やかな成長をお祈りします♡

誕生のお祝いとして記念品をお届けしました

災害時にトイレや洗濯に使う生活用水としてマナーを守り利用させていただきます。(飲用には使用できません)

